基本目標６　パートナーシップが支えるまちの実現

１　板橋区の現状

区民団体（エコポリス板橋環境行動会議、環境活動団体）と区の協働をはじめ、町会・自治会、商店街、企業、ＮＰＯ・ボランティア、大学など、様々な主体との連携・協働により、様々な普及啓発活動、環境保全活動を推進しています。

これらの活動も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種キャンペーンへの参加者やエコポリスセンターの事業に協力するボランティア参加者数、環境学習講師派遣人数は2020（令和２）年度～2021（令和３）年度に一時落ち込んだものの、徐々に復調傾向にあります。一方で、環境登録団体は、構成員の高齢化などを背景に減少が続き、団体のすそ野を広げることが課題となっています。

環境活動の活性化につながるよう、環境教育・環境活動を広める機会を充実し、板橋区の環境を支える人づくりに取り組んでいきます。あわせて、若い世代や環境活動の新たな担い手へのアプローチを強化し、環境教育・環境活動のネットワークづくりを進めていきます。

■ 活動指標

指標名	基準年値 平成26年度	めざす 方向性	目標値 令和7年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	進捗率	進捗度
エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数※1	990 人	⇗	1,300 人	738 人	622 人	0%未満	停滞
環境登録団体数※2	27 団体	⇗	37 団体	25 団体	23 団体	0 %未満	停滞
環境学習講師派遣人数※3	363 人	⇗	500 人	258 人	329 人	0%未満	停滞
全区民参加型環境保全キャンペーン参加者数※4	25,674 人	⇗	31,500 人	16,675人	18,388人	―	―

※1　エコポリスセンターの事業に協力したボランティアの人数を集計したもの。
※2　エコポリスセンター及びいたばし総合ボランティアセンターへの登録団体を集計したもの（重複は除く）。
※3　区内保育園や小中学校等における環境学習の出前講座の際にエコポリスセンターが派遣する指導者等の人数。
※4　この指標に含まれるキャンペーンの一つである「打ち水キャンペーン」については、従来行っていた一堂に集まって行う手法から個人で個別に行う方針としたため、参加者数の把握が困難なことから指標の実績はその他キャンペーン（春・秋の板橋クリーン作戦、ポイ捨て防止キャンペーン）の参加者数を参考値として掲載しました。

参考データ

図２-６-１　エコポリスセンター事業へのボランティア等参加者数の推移

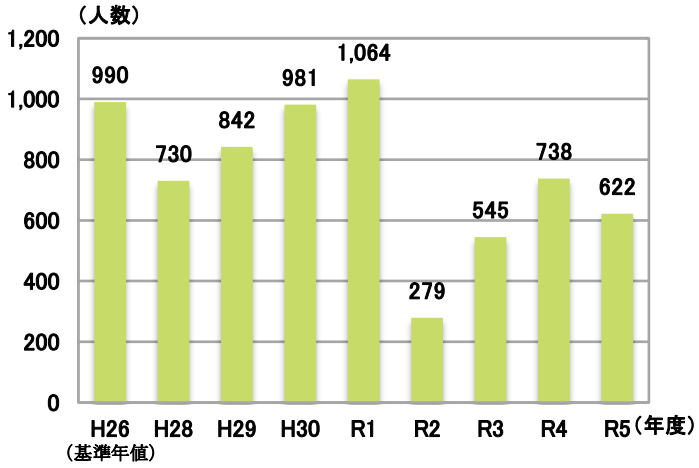


図２-６-２　環境登録団体数の推移

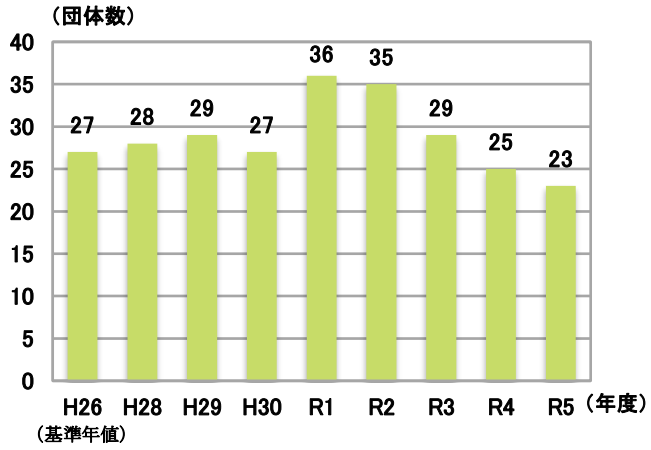


図２-６-３　環境学習講師派遣人数の推移

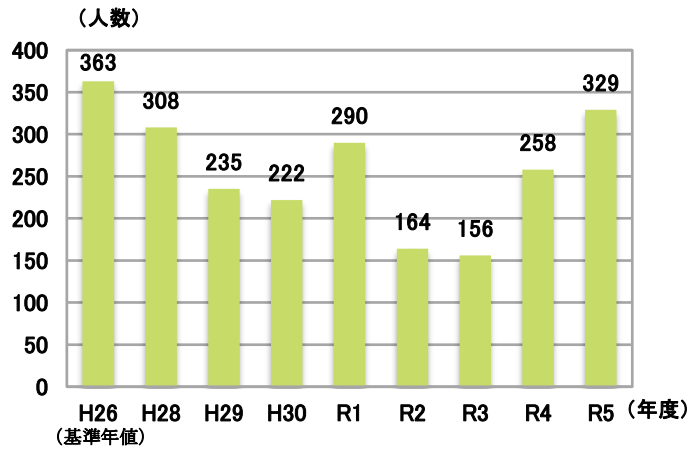
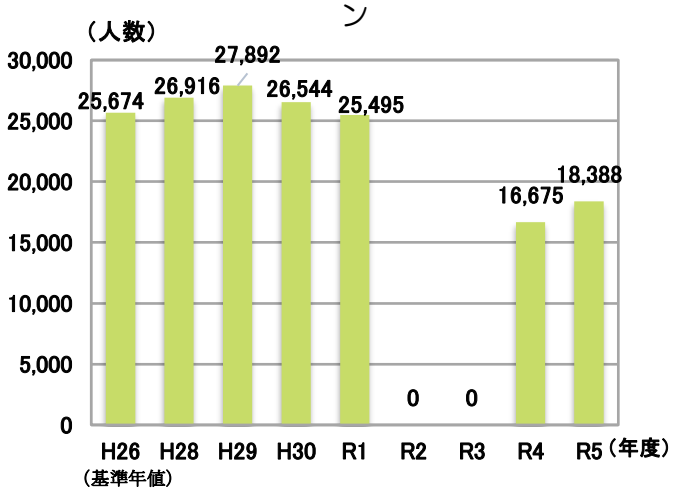


図２-６-４　全区民参加型環境保全キャンペーン



《出前講座》

エコポリスセンター職員や環境団体等が区内保育園・幼稚園、小中学校、地域等へ出向き、出前講座を実施しています。出前講座で取り扱うテーマは地球温暖化やごみ問題、身近な生き物・自然環境など多岐に渡ります。

今後も、各教育施設や地域等の要望に基づき講師を派遣するとともに、地域に根差した環境学習の推進を行っていきます。

■ 保育園への生き物に関する出前授業

２　環境施策の活動状況

（１）環境保全活動への参加や協働を進める仕組みづくり

エコポリス板橋クリーン条例

迷惑喫煙防止のためボランティアからなる「板橋区喫煙マナーアップ推進員」制度を2005（平成17）年4月に創設しました。現在、48名（2024（令和6）年3月31日現在）の推進員が、各地域で、吸い殻の清掃活動などに積極的に取り組んでいます。

また、喫煙マナー指導員（区委託）による巡回パトロール時に「路上禁煙地区」内の定点におけるたばこのポイ捨て件数を調査しています。2023（令和5）年度実績は月平均647本でした。

「エコポリス板橋クリーン条例」は地域の環境美化活動の推進や区民の良好な生活環境を確保することを目的として、1998（平成10）年10月に制定しました。この条例では、ごみやたばこの吸い殻のポイ捨てを禁止するとともに、歩きたばこや自転車に乗りながらの喫煙をしないよう努めることを規定しています。

また、条例では、乗降客の多い駅周辺等を「路上禁煙地区」に指定し、終日路上での喫煙を禁止しており、現在8地区（成増駅周辺、上板橋駅周辺、大山駅・区役所周辺、板橋駅・新板橋駅周辺、ときわ台駅周辺、高島平駅周辺、東武練馬駅周辺、志村坂上駅周辺）が対象となっています。

さらに、迷惑喫煙防止啓発のため、区内21の駅頭において区職員と推進員が協働で行う「駅頭キャンペーン」や、喫煙マナー指導員（区委託）による巡回パトロールなどを実施しています。

▶喫煙マナー指導員
（区委託職員）

◀喫煙マナーアップ推進員
（ボランティア）

関連する活動指標

指標名	基準年値 平成26年度	めざす方向性	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	進捗度
喫煙マナーアップ推進員人数	157　人	⇗	79　人	48　人	後退
路上禁煙地区(8地区)内の定点におけるたばこのポイ捨て月平均本数※	1,300　本/月	⇘	589　本/月	647　本/月	**進展**

※　基本目標4「快適で健康に暮らせる生活環境の実現」の環境施策2「潤いのある景観や美しい街並みの保全」の指標であるが、「エコポリス板橋クリーン条例」に関する取組としてまとめて表記する。

今後の対策：様々な媒体を用いて積極的な事業の啓発に努めていきます。

関連するホームページ（エコポリス板橋クリーン条例）　https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006099.html

エコポリス板橋環境行動会議

板橋区は、2001（平成13）年10月、「エコポリス板橋」実現のため、住民による任意の環境活動が、組織的な連携の場所を持つことにより一層活発化することをめざし、「エコポリス板橋環境行動会議」を設立しました。会議は、学識経験者、団体、地区環境行動委員会からそれぞれ推薦のあった方、区職員で構成されています。

「エコポリス板橋環境行動会議」は、委員相互の緊密な連携のもとに、広く区民等に対して、環境保全・環境美化に関する普及啓発、環境情報の提供などを行います。

関連するホームページ
（エコポリス板橋環境行動会議）
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006102.html

2023（令和5）年度の活動方針は以下のとおりです。

①　地域清掃及び環境美化の推進
（春・秋の板橋クリーン作戦）
②　ごみのポイ捨て防止の推進
（ポイ捨て防止キャンペーン）
③　地球温暖化対策への取組
（CO_2削減区民運動「エコライフウィーク」）
④　情勢に応じた、環境問題についての情報交換
⑤　当会議の活動内容や環境情報の周知

また、「エコポリス板橋環境行動会議」では、区民の環境美化意識を高め、自主的な環境美化活動の輪を広げていくため、活動方針に基づき、全区的統一行動として事業計画を定めています。2023（令和5）年度の取組結果は表2-6-1のとおりです。

表2-6-1　区内統一行動と2023（令和5）年度の取組結果

全区的統一行動	2023（令和5）年度の取組結果
春の板橋クリーン作戦	（P73参照）
秋の板橋クリーン作戦	（P73参照）
ポイ捨て防止キャンペーン	（P74参照）
板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権	（P74参照）
打ち水重点啓発期間	７月15日から９月３日までの期間に、地球温暖化防止及びヒートアイランド緩和（※P94）のための活動の一環として打ち水の啓発を行いました。SNS等を活用し広く区民に呼びかけました。
CO_2削減区民運動（エコライフウィーク）	夏季・冬季に、エコアクション9（関連P76）の啓発を行いました。

エコポリス板橋環境活動大賞

エコポリス板橋環境活動大賞は、区民や団体、企業などの「エコライフスタイル」の支援、環境保全に関する意識の向上を通じて、環境戦略に基づく施策の総合化を推進することを目的とし、低炭素社会形成の推進や循環型社会の推進、環境保全活動等に積極的に取り組む方々に対し、表彰を行うものです。これは、従来の「板橋区環境保全賞」をリニューアルしたもので、2011（平成23）年度より実施しています。

2020（令和2）年度以降は、コロナ禍の影響等により、中止しています。

■エコポリス板橋環境活動大賞

関連するホームページ
（エコポリス板橋環境活動大賞）
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/kougai/bika/ecopolice/1006100.html

区民団体における取組

エコポリスセンターでは、環境活動を行う個人・団体等の活動支援や、環境について行動できる人づくりに力を入れています。

2023（令和５）年度、ボランティアなどの協力を受け入れたエコポリスセンター事業数は175件、自主講座支援回数は１回でした。

区民団体の中には、事業の受託者や講師として活躍している団体もあります。ボランティアや講座等を通して、来館者との交流も深めています。今後も、ボランティアの活動機会を提供すると共に、継続的な人材の育成をめざしていきます。

関連する活動指標

指標名	基準年値 平成26年度	めざす方向性	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	進捗度
ボランティアなどの協力を受入れたエコポリスセンター事業数※1	183 件	⇗	181 件	175 件	横ばい
自主講座支援回数※2	2 回	⇗	1 回	1 回	後退

※1　エコポリスセンターの事業のうち、ボランティアが協力した事業の件数を集計したもの
※2　団体が自主企画した講座をエコポリスセンターが支援した回数

関連するホームページ（エコポリスセンター各種登録制度）　https://itbs-ecopo.jp/various-application/

《エコライフサポーター》

エコポリスセンターでは、登録制のボランティア制度を実施しており、登録された方は「エコライフサポーター」として、イベントや出前講座のサポートなど幅広い分野で活動しています。

今後も、区民の皆さんと協働で環境学習、環境啓発事業等を展開していきます。

■ イベントでのサポート